

3年	科目	日本事情	講義	通年	担当	佐藤崇徳・平田陽一郎
全学科共通		Japanese Culture	選択	2履修単位		SATO T. & HIRATA Y.
授業の概要						
日本で生活を送るうえで必要な日本の社会・文化に関する基本的な知識を身につける。日本語で書かれた様々な文書(新聞、広報誌、掲示など)を読み、各種の申し込みや問い合わせなどの手続き方法や関連する日本語表現について学ぶ。また、日本社会に根付いている生活文化に触れる機会を設け、実体験を通じて日本への理解を深める。テーマ学習では、設定されたテーマに基づいて情報を収集・整理し、発表・話し合いをする。						
本校学習・教育目標(本科のみ)		目標	説明			
		1	技術者の社会的役割と責任を自覚する態度			
		2	自然科学の成果を社会の要請に応じて応用する能力			
		3	工学技術の専門的知識を創造的に活用する能力			
	○	4	豊かな国際感覚とコミュニケーション能力			
		5	実践的技術者として計画的に自己研鑽を継続する姿勢			
プログラム学習・教育目標(プログラム対象科目のみ)						
実践指針(専攻科のみ)						
授業目標						
日本の生活文化を理解しようとする姿勢を持ち、様々な手段を通して日本の社会事情に関する情報を収集・整理し、また、発表・議論することができる。						
授業計画						
第1回	ガイダンス					
第2回	日本人とのコミュニケーション	自己紹介 — 日本と母国との社会の違いに留意しながら自分の経歴を説明する				
第3回		〃				
第4回	日本について学ぶ	日本の社会、日本人の生活に触れる — 沼津高専に近接する地域を歩く				
第5回		日本の社会・文化を学ぶ、日本語で書かれた文書を読む				
第6回		日本の社会、日本人の生活に触れる — 沼津高専に近接する地域を歩く				
第7回		日本の社会・文化を学ぶ、日本語で書かれた文書を読む				
第8回		日本の社会、日本人の生活に触れる — 沼津・三島の中心市街地を歩く				
第9回	テーマ学習	「見学旅行を企画・準備する」				
第10回		〃				
第11回		〃				
第12回	見学旅行	「日本の社会、日本人の生活に触れる」				
第13回		〃				
第14回		〃				
第15回	テーマ学習	「高専祭への出展を企画・準備する」				
第16回		〃				
第17回		〃				
第18回		〃				
第19回		〃				
第20回		〃				
第21回		〃				
第22回		「日本社会で学ぶ・生活する」				
第23回		〃				
第24回		〃				
第25回		〃				
第26回		〃				
第27回		〃				
第28回		〃				
第29回		〃				
第30回	まとめ					
評価方法と基準	テーマ学習の過程における積極姿勢と成果発表により評価する(100%)。					
教科書等	必要に応じて教員が用意した資料プリントを配布する。					
備考	この授業科目は外国人留学生在が履修することができる。 1.試験や課題レポート等は、JABEE、大学評価・学位授与機構、文部科学省の教育実施検査に使用することがあります。 2.授業参観される教員は当該授業が行われる少なくとも1週間前に教科目担当教員へ連絡してください。					